塩川小学校　学校だより

平成 30 年 11 月 13 日

なかよし塩川

第７号

文責：教頭（今井）

練習の成果を出し切ったすばらしい音楽会

１０月１２日（金）塩川小学校の校内音楽会が行われました。保護者や祖父母、地域の皆さん、塩川保育園やちぐさ幼稚園の園児の皆さん、さらに、塩川敬老園のお年寄りの皆さんなど、たくさんの方が子どもたちの音楽を聴きに来てくださいました。お忙しい中ありがとうございました。

音楽会は、全校合唱「はじめよう　コンサート」の元気な歌声で始まりました。４年生の二部合唱「きっと　いつかは　ぼくだって」は、二部の高低のハーモニーがすごくきれいでした。３年生のリコーダー奏「さんぽ」と合奏「上を向いて歩こう」は、リコーダーの柔らかい音がきれいに響いていました。合奏もリズムが安定していてまとまりがありました。１年生の斉唱「ちょっとまって流れ星」は、かわいい元気な声で、とても楽しそうに歌っていました。５年生の二部合唱「HEIWA の鐘」は、きれいな発声で、特に高音がきれいでした。低音の音程もしっかりとれていてとてもきれいなハーモニーでした。２年生の合奏「海の見える街」は、打楽器と鍵盤ハーモニカのリズムがとてもよかったです。６年生の合奏「ピースサイン」は、みんなが指揮者を見て一体感がありました。早いリズムのところも各楽器の演奏がそろっていて素晴らしかったです。

後半は、金管バンド部の「HANABI」「シュガーソングとビターステップ」を演奏しました。限られた練習時間の中で頑張ってきた成果を出して、力強い演奏で上手でした。２年生の斉唱「たいようのサンバ」は、手作り楽器で、みんなが楽しくのりのりで、リズミカルに歌っていました。１年生の合奏「かえるのうた」は、鍵盤ハーモニカでの追いかけっこが楽しかったです。はじめての鍵盤ハーモニカじょうずになりました。４年生の合奏「アルルの女よりファランドール」は、テンポ、リズムなど各パートの音がすごくそろっていて素晴らしい演奏でした。３年生の部分二部合唱「ホール・ニューワールド」は、高音がきれいでした。みんなが大きな声で一生懸命歌う姿がよかったです。５年生の合奏「ハンガリー舞曲第５番」は、各パートのリズムや音がそろい、とても完成度が高い素晴らしい演奏でした。最後の６年生の三部合唱「ふるさと」は、三部の難しい曲でしたが、高音がきれいな声でした。各パートの重なり合いを工夫しながら、頑張って歌っていました。

学級には音楽が好きな子も苦手な子もいます。いろいろな個性の持つ子どもたちが、音楽会の発表に向けて、音楽の時間に先生と一緒に取り組んだことはもちろん、休み時間も練習したり、子どもたち同士で教えあったりしながら頑張って、素晴らしい音楽を作り上げてくれたことが本当にうれしいです。

金管バンド　塩川敬老園で演奏会

塩川敬老園での演奏会を毎年行っています。今年は 11 月２日（金）に行ってきました。今年は「となりのトトロ」「負けないで」「HANABI」「シュガーソングとビターステップ」の４曲を演奏してきました。敬老園のおじいさん、おばあさんは、子どもたちの演奏に合わせて、手や体でリズムを取って聞いている方もいました。音楽を聞いて表情が明るくなる方もいました。演奏が終わると温かい拍手をしてくださり、子どもたちもうれしかったと思います。この演奏会で６年生は４年生から続けてきたクラブ活動が終わりとなります。来年もまた楽しく交流できるように、新３年生を迎えて、クラブ活動を頑張っていきます。

こころのプロジェクト「夢の教室」　５年生

10 月２３日（火）に、元女子プロサッカー選手の大竹七未さんを講師にお迎えして、こころのプロジェクト「夢の教室」の授業がありました。

５校時は、体育館でゲームを通して、チームワークや協力することの大切さを教えてもらいました。「だるまさんがころんだ」の遊びに似たゲームをしました。アシスタントの方がボールを放り投げ、手からボールが離れているときだけ前進できます。ゴールラインまで全員が到達できたら勝ちというゲームです。

しかし、ボールを投げると見せかけて、投げないのに動いてしまうとスタート地点までもどらなければなりません。最後の課題は全員で手をつないだままゴールすることでした。チャンスは１０回。何回も失敗が続きました。なかなかゴールできません。作戦タイムの時間にどうしたら成功するかみんなで知恵を出し合いました。けれども、失敗が続きました。子どもたちはだんだんと真剣な顔つきになりました。ラストチャンスの１０回目で全員がゴールして勝つことができました。大喜びでした。最後まであきらめず、みんなで知恵を出し合い、心を一つにして協力したからこそ得られた喜びでした。

６校時は、夢先生の大竹七未先生のお話を聞きました。サッカー選手になる夢を持ち、その夢に向かって小学生の時から努力を積み重ねてきました。しかし、サッカー選手になるためには苦難の連続でした。チーム内でいじめにあい、もうサッカーをやめようと思ったこともあったそうです。また、ケガで練習ができず、歯がゆい思いを何年も続けたこともありました。でも、夢をあきらめることはしなかったそうです。そして、夢があったからこそ苦しい時にも頑張ることができたと話してくれました。日本代表としてワールドカップやオリンピックで活躍し、華々しい経歴が目を引きますが、その裏には見えない人一倍の努力や苦労があるのだということが分かりました。

長野市見学　４年生

10 月２６日（金）長野市見学でした。最初に長野県庁に行きました。県庁では、議場と知事室、災害対策本部を見学しました。議場では副議長の小林さんから、定例県議会は、年４回開かれる他に必要に応じて何回か開かれること、そこでは、長野県の大切な政策や予算を決めていることなどをお聞きしました。知事室では、知事さんの仕事や一日のスケジュールなどをお聞きしました。忙しい日程で仕事をされている様子に驚いていました。最後の災害対策本部では、災害が起こったときにどのように役割分担し、対処していくかについてのお話を聞きました。最後に「一人で学校から帰るときや一人で家にいるときに、大きな地震にあったらどうする？」「お家の人と会える安全な場所を話し合っておこう」という宿題が出されました。県庁の学習は、事前に学習はしましたが、行政についての説明は難しかったです。

次に善光寺に行きました。「お戒壇めぐり」をしました。普段生活をしていると、「真っ暗」、「何も見えない暗闇」を経験することはあまりないですが、回廊の中は、光がまったくない暗闇でした。事前に「騒がない」「大きな声を出さない」と学習したのですが、「何にも見えない」「ちょっと待って」「かぎがあった」等と口々に叫んでいて、他のお客さんに迷惑がかかってしまうかと担任はひやひやしました。善光寺見学の後は城山公園でお昼を食べました。アスレチックでたっぷり遊ぶこともできました。

最後に信濃毎日新聞社に行きました。近代的な建物でとてもきれいなビルでした。ここでは、「編集室」を見学しました。ちょうど、「夕刊」の記事を作っているところで、時間に間に合うように、みんな真剣にお仕事をされている様子を見て、子どもたちにも緊張感が伝わってきたようでした。

帰りのバスの中では、さすがの４年生も疲れてしまったのか寝ている子が多くいました。たくさんの事を見て、聞いて、メモしてきたよい見学になりました。